

(農)山形おきたま産直センター概要

組合員数	291名(内米約190名) 22年	
職員	5名	
関連組織	山形川西産直センター、産直農園クローブ	
創業	1985年6月結成、1998年8月法人化	
出資金	45,715千円	
事業実績		
米	21年産有機、特裁米等	1,165 t
果樹	さくらんぼ(21年)	1.6t
	ぶどう(21年)	17 t
	ラ・フランス(21年)	13.8t
	りんご(21年)	2.5t
野菜	小玉すいか(21年)	6.5t
	かぼちゃ(21年)	4.8t
	おかひじき(21年)	2.6t
	じゃがいも(21年)	4.5t
	きゅうり(21年)	2.8t
	トマト(21年)	2.4t
	畜産	自然卵(21年平均飼卵)



環境にやさしい農業と 安全な食べ物作りの推進

- ダイオキシンや環境ホルモンなど、環境を汚染し人体に悪影響をおよぼす危険性のある資材、農薬などをできるだけ排除します。
- 日本生協連農薬検討委員会報告の52農薬は原則排除します。
- 環境を汚染する空中防除を一日でも早く無くすよう、申し入れや宣伝などの取り組みを行います。
- 有機資材の活用で、当面化学肥料の70%削減をめざします。

置賜の気候

置賜地方は典型的な盆地型の気候で、夏暑く、冬は大雪、朝晩の寒暖の差が激しい、人間には非常に厳しい気候条件です。が、農作物には最高の条件で、お米をはじめ、カンキツ以外はほとんど作れてしまう果物など、置賜はおいしい農作物の宝庫です。

産直センター活動方針

- 安全な食べ物作りは、消費者と農民の命と健康を守り、食糧自給率向上を進め輸入を阻止し、また日本農業の自主的発展をめざすための最大の柱と位置付けて取り組みます。
- 学習会、研修会、交流会などを重視し、安全な食べ物作りの意義と生・消提携の輪を広げていきます。
- 真の土作りをめざし、有畜複合経営を推進します。また、地域複合をすすめ、循環型農業を推進していきます。
- 各生産組織、産直センターへの集結強化と自主財政を確立します。
- 農家経営の安定をはかるために、大幅な組合員と事業の拡大、組織強化をはかります。

山形県置賜地方概要

○市町	3市5町 (南陽市・米沢市・長井市・川西町 高畠町・白鷹町・飯豊町・小国町)	
○人口	232,074人	(2008年)
○農業経営体	9,471戸	(2005年)
○面積	2,495.52 平方km	
○農地作付面積	耕地面積	25,700ha (2008年)
	水稲	14,200ha (2008年)
	果樹	1,490ha (2006年)
	野菜	2,300ha (2006年)

○置賜の主な農作物の生産量(2006年)

米	86,600t
ぶどう	8,590t
りんご	4,500t
西洋梨	2,870t
さくらんぼ	712t
きゅうり	4,180t
だいこん	3,960t
はくさい	3,770t
せいさい	3,320t
トマト	2,060t
肉牛	8,470頭
乳用牛	8,380頭